

気候情報

2007年10月の日本の天候

高温（北海道を除く全国）、
降水量少ない（北・東日本日本海側、
西日本太平洋側、沖縄・奄美）

10月の天気概況

全般に天気は数日の周期で変わったが、日本海側を中心に高気圧に覆われて暖かく晴れの日が多かった。中旬前半に北日本を中心に寒気が南下した。また、中旬末の寒冷前線通過後に西日本を中心に寒気が南下したが一時的だった。このため、月平均気温は、北海道で平年並となったほかは高く、西日本と沖縄・奄美ではかなり高かった。

上旬中ごろに台風第15号が先島諸島に接近し、沖縄地方では大雨や暴風となり、上旬終わりには台風から変わった低気圧と前線の影響で、九州北部地方を中心に大雨となった。下旬中ごろに、台風第20号が本州南海上を北東進し、本州南岸の前線の活動が活発となったため、東・北日本太平洋側を中心に大雨や強風となった。このため、月降水量は北・東日本太平洋側、西日本日本海側、先島諸島など一部で多かったが、北海道、西日本太平洋側、沖縄・奄美を中心に少なかった。

上旬：天気は数日の周期で変わった。前線は本州南岸に停滞することが多く、東・西日本太平洋側では曇りや雨の日が多かった。5～7日は台風第15号が先島諸島に接近し、沖縄地方では暴風や大雨となった。8～9日は寒冷前線が通過し、北日本から西日本にかけて雨となり、台風第15号から変わった低気圧と前線の影響で九州北部地方を中心に大雨となった。旬平均気温は、全国で高く、西日本と沖縄・奄美でかなり高かった。旬降水量は、北日本と東日本太平洋側で少なく、東日本日本海側と西日本太平洋側で平年並で、西日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。旬間日照時間は、北日本と東日本日本海側で多く、東・西日本の太平洋側と沖縄・奄美で少なく、西日本日本海側で平年並だった。

中旬：前半は日本の北を発達した低気圧が通過し、その後北日本を中心に寒気が南下した。旬の中頃は、本州南岸に停滞した前線の影響で東日本では曇りの日が多かった。19～20日は低気圧が日本海と本州南岸を通過し、北日本から西日本にかけて雨となった。旬平均気温は、北日本で低く、東日本で平年並で、西日本と沖縄・奄美で高かった。旬降水量は、北日本、東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美で少なく、東日本太平洋側で平年並だった。旬間日照時間は、北日本太平洋側と東日本日本海側で少なく、北日本日本海側と東日本太平洋側、沖縄・奄美で平年並で、西日本で多かった。

下旬：天気は数日の周期で変わったが、高気圧に覆われ晴れて暖かい日が多かった。旬の初めは北日本日

本海側を中心に一時的な冬の気圧配置でしぐれた。26～27日は本州南岸の活動が活発な前線や本州南海上を北東進した台風第20号の影響で、北・東日本太平洋側を中心に大雨となった。旬平均気温は全国で高く、東日本と西日本ではかなり高かった。旬降水量は北日本太平洋側で多く、東日本太平洋側でかなり多かった。北・東日本の日本海側、西日本で少なく、沖縄・奄美でかなり少なかった。旬間日照時間は北日本、東・西日本の太平洋側で平年並、東・西日本の日本海側と沖縄・奄美で多かった。

10月の気候統計

月平均気温：北海道で平年並だったほかは全国的に高く、西日本と沖縄・奄美ではかなり高かった。九州では平年を2℃以上上回ったところが多かった。

月降水量：北日本から東日本にかけての太平洋側、および西日本日本海側で平年並だった。一方、北日本から東日本にかけての日本海側、西日本太平洋側、および沖縄・奄美では少なかった。

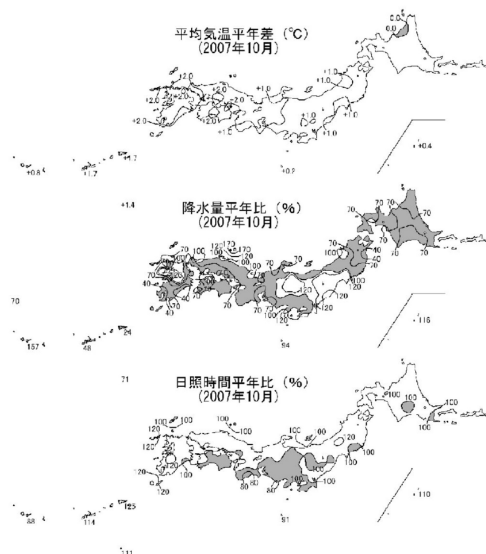
月間日照時間：北日本、西日本日本海側で多かった。一方、東日本日本海側、西日本太平洋側、および沖縄・奄美では平年並だった。東日本太平洋側では少なかった。

（気象庁観測部統計室）

10月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
福岡 20.9 大分 20.4 佐賀 20.5 長崎 21.4
名瀬 25.2 など11地点
- ・月降水量少ない方から（mm）
種子島 15.5

2007年10月の平年差（比）図



注）陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。